

# 地域教育支援係

## 1 成人式

- (1) 実施日 平成 26 年 1 月 13 日 (月・祝)
- (2) 会場 福生市民会館大ホール (もくせいホール)

- (3) 対象者及び参加者数 (単位：人)

区分	男性		女性		合計	
	当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
対象者 (市内)	363	335	279	312	642	647
参加者 (市内)	214	192	169	194	383	386
参加者 (市外)	19	22	25	23	44	45
参加者 (合計)	233	214	194	217	427	431

## 2 国際交流青少年海外派遣事業

派遣国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し、人々と交流することによって相互理解を深め、将来、国際的な視野に立って活躍できる人材の育成を図ることを目的として、市内在住の中学生 12 人 (男子 5 人・女子 7 人) をアメリカ合衆国ワシントン州シアトル市へ 14 日間 (12 泊 14 日)、派遣した。事業費 7,915,556 円 (参加負担金 1,224,000 円)

日程	日付	スケジュール
1	7 月 24 日 (水)	福生市役所発→(バス)→成田空港→(空路・国際日付変更線通過)→シアトル・タコマ国際空港着 シアトル市内見学 ウエストシアトル パイクプレイスマーケット、パイオニアスクエア等 NSCC (ノースシアトルコミュニティカレッジ) 着 オリエンテーション、ホストファミリーと対面後、各滞在家庭へ
2	7 月 25 日 (木)	語学研修 NSCC 校外学習 ワシントン大学バーク博物館見学 アメリカ人大学生との交流
3	7 月 26 日 (金)	語学研修 NSCC 校外学習 日系老人ホーム訪問 スペースニードル (入場)
4	7 月 27 日 (土)	ホストファミリーと過ごす
5	7 月 28 日 (日)	校外学習 大リーグ観戦
6	7 月 29 日 (月)	語学研修 NSCC 校外学習 ボーイング社エバレット組立工場見学
7	7 月 30 日 (火)	語学研修 ワシントン州フェリー乗船。船内にて乗客にコンタクトエクササイズ 校外学習 ベインブリッジ歴史博物館見学
8	7 月 31 日 (水)	校外学習 SAKUMA FARM(日系移民が始めた果樹園)での見学及びレクチャー (英語)
9	8 月 1 日 (木)	校外学習 マウントレーニア国立公園見学
10	8 月 2 日 (金)	語学研修 NSCC 校内学習 NSCCにて現地学生との交流
11	8 月 3 日 (土)	ホストファミリーと過ごす
12	8 月 4 日 (日)	ホストファミリーと過ごす 大学にてさよならパーティー

日程	日付	スケジュール
13	8月5日(月)	N S C C 発→(バス)→シアトル・タコマ国際空港→(空路、国際日付変更線通過)→成田空港→(バス)→中央体育館到着
14	8月6日(火)	帰国挨拶後、解散

※表中、日付は派遣生が滞在する現地時間

※派遣生の現地滞在中の宿泊先は、各派遣生のホストファミリー宅

### 3 青少年健全育成事業

#### (1) 青少年育成地区委員長会

##### ア 会議

委員長数	会議数	議 題
33人	全体会 12回 理事会 8回	ふっさ輝きフェスティバル、軽スポーツ&とん汁会ほか

##### イ 主な活動

実施日	内 容
5月19日	第22回ふっさ輝きフェスティバル
8月上旬	青少年健全育成PR用品配布 シャープペンシル2,100本「あいさつは魔法の力」
8月24日	夜間一斉パトロール
11月17日	第21回軽スポーツ&とん汁会

#### (2) 青少年育成地区委員会

地区数	地区委員数	活 動	補助金額
33地区	548人	夜間パトロール、資源回収、ラジオ体操等	1,990,900円

#### (3) 子ども議会

ア 実施日 平成25年10月19日(土)

イ 会 場 市議会議場

ウ 子ども議員 市内の全7小学校の5、6年生から各校2名ずつを選出(全14名)。議長、議会運営委員長、議会事務局長については、子ども議員が兼務

エ 質問内容 福生市の少子化対策について、福生市の歴史・文化財について、ごみ収集車について、学校の児童数減少・福生市の空き家増加について、ごみのポイ捨てについて、読書について、福祉バスについて、福生市の公園の電灯について、家族が仲良くなる施設について、不審者から身を守ることにについて、福生市のキャラクターについて、子ども用の遊びの施設について、安全・安心なまちづくりについて、中央体育館について

オ 傍聴人数 60人

### 4 ふっさっ子の広場事業

市内全7小学校で、放課後等に学校の施設を利用して、児童が安全に過ごせる場を提供し、学年を超えた児童相互の交流や地域のサポーター(ボランティア)との交流・体験を通じて、児童の自主性、社会性、協調性等の育成を図った。

	一小	二小	三小	四小	五小	六小	七小	合計
実施日数	241	239	238	237	239	240	242	1,676
参加児童数	5,489	6,609	8,724	4,130	4,762	8,105	4,617	42,436
サポーター登録者数	51	45	91	65	53	103	63	471

※参加児童数は延べ人数。複数の広場に登録しているサポーターは、それぞれに計上

## 5 学校支援地域組織事業

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを大きな目的とした組織。

具体的には、各学校の学校支援コーディネーターが、学校のニーズと支援者である地域のサポーター（ボランティア）を結びつけ、学習支援活動、図書の整理や読み聞かせ、芝生の手入れ、花壇や樹木の整備等の校内の環境整備、登下校時等における子どもの安全確保等の支援活動を行う。

平成 23 年度において小中 5 校において開設。平成 24 年度は五小、六小、七小、二中、三中の組織を開設し、平成 25 年度は、年度当初から 10 校にて事業を実施している。

実施校	コーディネーター数	活 動
10 校	10 名	学習支援活動、環境整備、登下校安全指導、学校行事等